

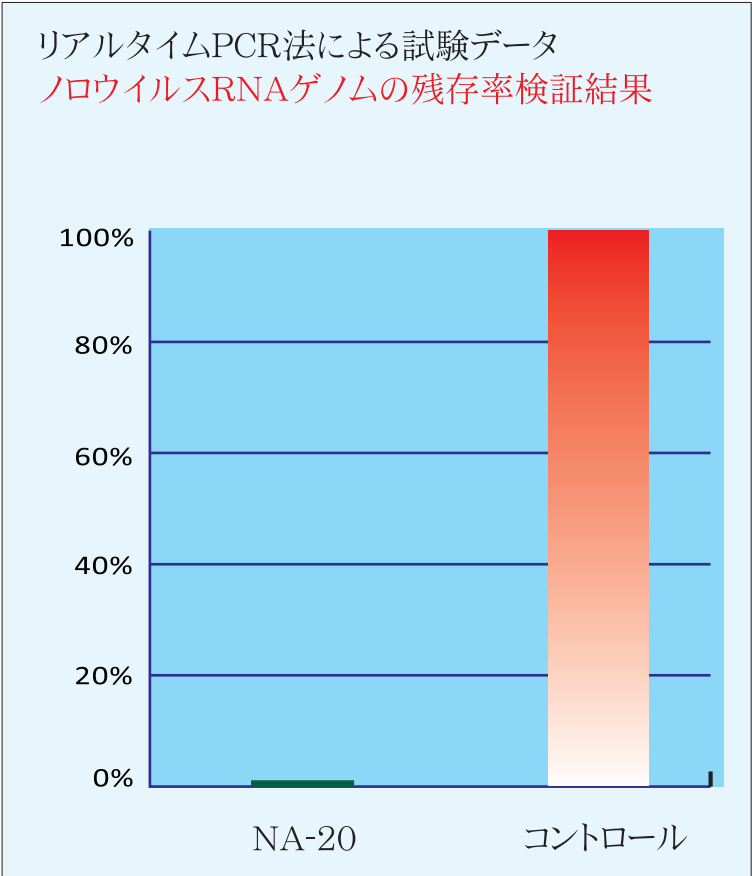
ノロウイルス

試験方法

- ①ウイルス液と消毒液を混合し、2分間反応させる。
- ②反応液を生理食塩水で希釈し、反応を止める。
- ③ウイルスRNAゲノム抽出
- ④DNase 処理
- ⑤cDNA 合成
- ⑥リアルタイム PCR によるウイルスゲノムの定量測定

結果

ノロウイルスゲノム残存率を 99%まで減少させた。



多剤耐性菌 アシネトバクター

使用菌株： *Acinetobacter baumannii*

使用培地： Tryptic Soy Broth Tryptic Soy Agar

消毒剤： NA-20

- 試験方法： ①一晩培養した菌液 (8 ~ 9 log CFU/ml) と消毒液を 1 : 9 で混合する
- ②室温で 15 秒または 60 秒反応させる
 - ③培地に塗布する
 - ④37°Cで一晩培養する

| 消毒剤 | 反応時間 (秒) | コロニー数 |
|--------------|----------|-------|
| NA-20 | 15 | <100 |
| NA-20 (2倍希釈) | 15 | <100 |
| NA-20 | 60 | <100 |
| NA-20 (2倍希釈) | 60 | <100 |

(n=3)

結果： いずれの条件においてもコロニーは検出されなかった。
2倍希釈した消毒液も十分な殺菌効果を持つことがわかった。